

## U N G L 活動実績報告

プログラム名	Global Programs 「リーダーシップ・チャレンジ in 韓国」																																									
実施日	平成 26 年 3 月 11 日 (火) ~ 16 日 (日)																																									
実施先	韓国・南ソウル大学、国立農水産大学等																																									
参加者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大 学 名</th> <th>教職員</th> <th>学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛大学</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>松山大学</td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>松山短期大学</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>香川大学</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>山口大学</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>追手門学院大学</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>広島経済大学</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>九州国際大学</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>京都文教大学</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>京都外国語大学</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>京都光華女子大学</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>			大 学 名	教職員	学生	愛媛大学	2	2	松山大学		9	松山短期大学		1	香川大学		2	山口大学	1	4	追手門学院大学	1	6	広島経済大学	1	7	九州国際大学	1	2	京都文教大学		3	京都外国語大学		2	京都光華女子大学		2	合計	6	40
大 学 名	教職員	学生																																								
愛媛大学	2	2																																								
松山大学		9																																								
松山短期大学		1																																								
香川大学		2																																								
山口大学	1	4																																								
追手門学院大学	1	6																																								
広島経済大学	1	7																																								
九州国際大学	1	2																																								
京都文教大学		3																																								
京都外国語大学		2																																								
京都光華女子大学		2																																								
合計	6	40																																								
完了報告	<p>韓国研修の主な構成は参加学生によるプレゼンテーションとホームステイであり、その都度振り返りの機会を学生に与えながら、リーダーシップ研修を実施した。</p> <p>プレゼンテーションにおいては、1 日目は完成度が低いものが目立ったが、振り返りを重ね、最終日には精度の高いものとなっており、挑戦することへの手応えを感じる学生は多かったようである。</p> <p>ホームステイでは、各家庭の事情は異なり、感想も一律ではないが、韓国人学生並びにその家族・友人との親睦をより深めることになった。</p> <p>全体として、事故や体調不良を訴える者もなく、リーダーシップ・プログラムとして、充実した研修を終えることができた。</p>																																									
<p><b>【プログラム到達目標】</b></p> <p>Global Programs の一つとして、価値観、立場、文化背景などが異なる組織での協同活動を通してリーダーシップ (スキル・知識・態度) を身につけることを目的としている。特に本プログラムでは、参加学生が韓国人学生に対してセミナーを実施し、ホームステイを体験することで、自律性や社会性を養うことを到達目標とした。</p> <p><b>【プログラム概要】</b></p> <p>本プログラムは Global Programs に位置づけられる海外研修である。参加学生はプレゼンテーション、ホームステイ、世界遺産訪問等をとおして、韓国文化への理解を深めるとともに、国際交流を念頭においたリーダーシップ力、チームワーク力、プレゼン力、異文化適応能力等の研鑽を積んだ。</p> <p><b>【プログラム内容】</b></p> <p>3 月 11 日 (火)</p> <p>●移動 (仁川空港~南ソウル大学) (写真①)</p> <p>時間： 20 : 00 ~ 22 : 50</p>																																										

参加スタッフ： 山中・中山・小江・樋口・松岡（敬称略）

〈内容〉

引率スタッフ 5 名、参加学生 40 名全員が現地（韓国・仁川空港）集合し、南ソウル大学まで、バス移動した。途中、南ソウル大学の安秉杰先生と合流し、夕食をとる。南ソウル大学到着後は、全員同大学ゲストハウスに宿泊した。



写真① 夕食の様子

●スタッフ・ミーティング

時間： 23：00～24：00

場所： 南ソウル大学ゲストハウス

参加スタッフ： 山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

スタッフ間で、翌日以降のプログラムについて確認し、振り返りなどの指導について打ち合わせした。

3月12日（水）

●学生セミナー実施（写真②、③）

時間： 10：00～12：50、14：00～17：50

場所： 南ソウル大学（本館 L103 セミナー室、5号館授業行動分析室）

参加スタッフ： 山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

2会場に分かれて、11大学、計14チームがそれぞれ50分間のプレゼンテーションを実施した。セミナーに参加した韓国人学生はある程度、日本語を理解することができ、グループワークを行うにあたって、特別な問題はなく、活発な議論が行われた。

各テーマは愛媛大学・松山大学・松山短期大学の「日本学生の私生活と方言」「恋愛について」「日本のファッションについて」「音楽業界や受験制度から競争社会を比較する」、香川大学の「流行の言葉でわかる日本文化」、山口大学の「ツナガレ！フォーチュンクッキー」、京都光華女子大学の「京都の世界遺産と着物について」、追手門学院大学の「日本と韓国のアイドルについて」「大阪について」、広島経済大学の「日本のファッションについて」「日本のアイドルについて」、九州国際大学の「日本と韓国のマナーの違い」、京都文教大学の「日本と韓国の民族衣装の違い」、京都外国語大学の「震災について考えてみよう」である。



写真② プレゼンの様子



写真③ プレゼン中、グループワークの様子

●セミナーの振り返り

時間：18：00～19：00

場所：南ソウル大学（本館 L103 セミナー室）

参加スタッフ： 山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

会場別、二手に分かれて振り返りを行った。本館発表チームの振り返り指導は、山中・樋口・松岡が、5号館発表チームは中山・小江が担当した。振り返りは、プレゼンテーションのほか、チーム内におけるリーダーシップ、チームワークなどについて話し合わせ、翌日のセミナーに反省が活かせるよう、指導が行われた。

3月13日（木）

●学生セミナー実施

時間：10：00～12：50、14：00～17：50

場所：南ソウル大学（本館 L103 セミナー室、5号館授業行動分析室）

参加スタッフ： 山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

12日同様、14チームが同じテーマでプレゼンテーションを担当した。ただし、半分のチームは会場が入れ替わり、また参加する韓国留学生も日本語を少ししたしなむ程度であるなど、前日とは違う聴衆のなかで実施された。しかし、ほとんどのチームがそれにあわせて内容を作り変えてきており、前日の反省が多く活かされた発表がよく見られた。

●セミナーの振り返り（写真④、⑤）

時間：10：00～12：50、14：00～17：50、20：00～21：30

場所：南ソウル大学（本館 L103 セミナー室、5号館授業行動分析室）

参加スタッフ： 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

振り返りはチーム別振り返りと全体振り返り二種類実施された。

まず、チーム別振り返りはセミナーと同時進行で行われ、発表が終わったチームから順次、プレゼンテーションなど、研修に対する取り組みについて話し合われた。前日同様、本館発表チームは山中・樋口・松岡が、5号館発表チームは中山・小江が担当した。

20：00からは秦による総指揮のもと、本館にて全体振り返りが行われた。まず、学生全員を新たにシャッフル、グループ分けし、互いの発表やその取り組み、反省点などについて話し合わせた。チームや大学を越えた振り返りは結束力を高め、全員が国際交流のためのファシリテーターであることの自覚が促された。

それをもとに、翌日の3回目のセミナー発表に、6チームが選出された。



写真④ 全体振り返りの様子



写真⑤ 全体振り返りの様子

3月14日(金)

●国農水産大学キャンパス見学(写真⑥、⑦)

時間: 9:30~10:00

場所: 国農水産大学キャンパス

参加スタッフ: 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

国農水産大学キャンパス内のキノコ栽培施設、食用植物栽培施設を見学した。



写真⑥ 国農水産大学キャンパス見学



写真⑦ 農水産大学キャンパス見学

●学生セミナー実施(写真⑧、⑨)

時間: 10:00~12:50、13:00~13:50

場所: 国農水産大学キノコ科

参加スタッフ: 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

前日選出された6チームが日本語を学んだことがない国農水産大学キノコ科の大学生を対象に、2会場に分けて、セミナーを実施した。ただし、プレゼンテーションには南ソウル大学の学生がボランティアとして通訳を担当した。発表者は聴衆にあわせて、さらに内容を改変し、グループワークを簡素化することで、交流が円滑になるよう工夫していた。

短時間であったが、セミナーは滞りなく遂行され、日本人学生と韓国人学生の交流は活発に行われた。



写真⑧ プレゼンの様子



写真⑨ 国農水産大学前にて全体写真

●隆陵・健陵（世界遺産）、鐘路3街・雲岷宮見学（写真⑩、⑪）

時間：14：30～17：00

場所：隆陵・健陵、鐘路3街・雲岷宮

参加スタッフ： 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

世界遺産である隆陵・健陵、またバス移動後、その関連の歴史建造物である雲岷宮を見学した。両者とも朝鮮王朝第22代王・正祖にまつわる歴史遺産であり、韓国歴史ドラマ（「イサン：正祖大王」）が日本でも放送されていたこともあり、親しみをもって韓国の歴史を学んでいた。



写真⑩ 隆陵・健陵見学の様子



写真⑪ 鐘路3街・雲岷宮見学の様子

●ホームステイ（1日目）

時間：17：00～

面会場所： 鐘路3街・雲岷宮

〈内容〉

参加学生は鐘路3街・雲岷宮にて各自ホストファミリーと面会し、ホームステイ先に向かった。学生たちはホームステイをとおして、大学における交流だけでは得られない、より内側に踏み込んだ韓国文化に触れることができた。

3月15日（土）

●ホームステイ（2日目）

参加学生たちは引き続き、各ホームステイ先で韓国人の家族と交流した。

●教職員による振り返り

時間：10：00～14：00

場所：南ソウル大学・ゲストハウス

参加スタッフ： 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

研修全体をとおした、教職員自身の振り返りを行った。学生にとっての研修の意義をどう見出させるかということを念頭に、スタッフの振り返りの仕方、スタッフ間のチームワーク等について論じ合った。

3月16日(日)

●グループ別振り返り

時間：13:00～

場所：仁川空港

参加スタッフ： 秦・山中・中山・小江・樋口・松岡

〈内容〉

ホームステイを含めた研修全体の振り返りをチーム別に行い、韓国研修をとおして、何を学ぶことができたかコメントさせ、グループ内で話し合わせた。

●仁川空港にて解散(写真⑫)

各自、出発時間ごと韓国を発った。



写真⑫ 仁川空港にて見送りに来た韓国人学生と別れを惜しむ

[目次へ](#)